

情報工学部 オンラインオープンキャンパス

高大接続・教育連携機構 花堂 奈緒子

この原稿を書いている8月初め、この福岡県では新型コロナウイルス感染症の新規感染者が急増し、3回目の緊急事態宣言が発令されるかどうかの瀬戸際にあります。

受験生・大学双方にとって夏休み最大のイベントと言えばオープンキャンパスですが、このような感染拡大状況を踏まえ、今年度も従来のような集合型（オンサイト）のオープンキャンパスの開催は難しいとのこと、工学部・情報工学部ともにオンラインでの実施となりました。今回は、7月22日・23日の2日間にわたって開催されました、情報工学部のオンラインオープンキャンパスの様子をお届けします。

初めての試みとなった昨年度のオンラインオープンキャンパスでは、研究紹介や学内の施設案内といった新たな動画コンテンツの制作から始めましたが、今年度は、情報工学部をもっと身近に感じてもらいたいと

いうことで、学生自治会や大学生協とのコラボ企画をさらに充実させました。

2日間とも午前中は安永学部長による情報工学部説明会、平田入学試験室長による入学者選抜説明会、そして3つの公開講座など、セミナー形式のリアルタイムコンテンツを配信し、午後からは対話型コンテンツとして、学科相談や受験相談、オンラインキャンパスツアー、学生プロジェクト紹介やプログラミング教室、現役学生による学生生活に関する質問コーナーなどが開催されました。

開催2日間の延べ参加者数は1,424名と昨年度の約2倍。遠くは北海道からの参加者もあり、オンライン開催ならではの盛況ぶりとなりました。特に、1日目の情報工学部説明会は定員上限となる200名の事前申込みをいただき、多くの受験生や保護者、高校の先生方に情報工学部について詳しく知っていただくこと



安永学部長による情報工学部説明会。
セミナー形式のコンテンツはZoomの画面共有+ビデオに加え、前方に設置したカメラでも撮影し、ストリーミング配信を行いました。

ができました。また、学生自治会の企画であるオンラインキャンパスツアーは、来学できなくても少しでも飯塚キャンパスの雰囲気を感じてもらうための企画で、Zoomで参加者とながりながら学内施設紹介を生中継するものです。参加者アンケートでも大変好評をいただき、「施設設備の良さを十分に理解したりすることができました。今年は直接見たり聞いたりすることはできませんでしたがとても楽しかったです！」と



現役学生によるコンテンツ 九工大生としゃべろう(左)、オンラインキャンパスツアー(右)の様子。
受験生からの相談に乗る様子も楽しげです。キャンパスツアーは学生目線で案内してくれました。

いったコメントが寄せられました。今回、これら学生企画運営の中心となってくれた学部2年生は新型コロナウイルス



学科相談会の様子。
女子生徒からの進路やキャリアの質問には女性研究者
ならではの視点からお答えいただきました。

ナ感染症の影響で入学式も行えず、入学直後からオンライン授業となり友人作りさえままならないという苦労を味わった学年です。そんな彼ら・彼女らだからこそ、後輩となる受験生に伝えたい・伝えられることが数多くあったのではないのでしょうか。

対話型コンテンツでオープンキャンパスを盛り上げたのは学生たちばかりではありません。学科相談や受験相談コーナーには多くの教員が対応し、学科の特徴や進路選び、中には受験勉強法のアドバイスまで、参加者からの様々な疑問・質問に丁寧

に答えました。いよいよ9月から始まる入試シーズン本番に向け、受験生の不安解消に役立つに違いありません。

参加者アンケートでは、「直接大学に行って雰囲気とかを感じたかったけれど、オンラインでも様々な知らなかった情報を知ることができたので良かったです」や「まだ入試まで時間は残されているので、この夏の間にしつかりと勉強をして、来年の4月に絶対に九州工業大学に入学できるように全力で勉強を頑張りたいと思った」といった感想をいただきました。



受験相談会の様子。
オンライン相談会は非常に便利ですが、気軽さゆえに無断欠席が発生しやすいことが難点です。

オンライン会場での盛り上がり一方で、中継現場となった飯塚キャンパスは人の往来もほとんどなく、蝉の声以外は聞こえない静かで寂しい2日間となりました。来年度こそはここに多くの高校生・受験生や保護者の皆さんを迎えて開催できることを願っています。

昨年度に続き、今年度もオープンキャンパスのキャッチコピーは「未来を、デザインしよう。」としました。このキャッチコピーは、新型コロナウイルスが発見されるより少し前の令和元年9月頃には次年度用として考えていたものですが、図らずもポストコロナの新しい時代の創造を意識したメッセージとなりました。その当時はオンラインオープンキャンパスの開催など想像もしていませんでしたが、今年度も多くの教職員・学生の皆さんの力で、たくさんの方々に本学のことを知っていただける機会を提供することができました。入試全般を担当するAO部門を代表し、この場を借りて御礼を申し上げます。

次号は8月開催の工学部オンラインオープンキャンパスの様子をご紹介します。



自主企画開始を前に円陣を組む学生たちの様子。
彼ら/彼女らのこれからの成長が楽しみです！

介します。
(九州工業大学 高大接続・教育連携機構 AO部門 講師)